

令和6年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領について(案)(概要)

本体調査(悉皆調査)

・調査実施日: 令和6年4月 18 日(木)

(後日実施(※)の期間: 4月 19 日(金)~4月 30 日(火))

・調査事項: 教科に関する調査 (国語、算数・数学)
質問調査(児童生徒、学校)

(※)調査の実施日に、特定の学校において調査を実施できないやむを得ない事情等がある場合、教育委員会及び学校等の判断により、当該学校における調査実施日を後日に変更すること。後日実施の場合、全体の集計からは除外することとするが、文部科学省は後日実施期間に実施された調査については、採点及び調査結果の提供を行う。

経年変化分析調査(抽出調査)

・調査実施日: 令和6年5月 13 日(月)~6月 28 日(金)で抽出校が可能な日

・調査対象: 文部科学省により指定される抽出校(小学校 1,200 校、中学校 1,500 校)

・調査対象教科: 国語、算数・数学、中学校英語

保護者に対する調査(抽出調査)

・調査期間: 令和6年5月 13 日(月)~6月 28 日(金)

・調査対象: 経年変化分析調査を受けた児童生徒の保護者

・調査方法: 質問調査

○令和6年度調査の主な特徴

- ①悉皆調査における児童生徒質問調査を、原則全て、児童生徒が活用するICT 端末等を活用したオンライン方式により実施。
- ②経年変化分析調査を、冊子を用いた筆記方式(PBT)と、児童生徒が活用する ICT 端末等を用いた、文部科学省 CBT システム(MEXCBT)によるオンライン方式(CBT)を併用。PBT で実施する学校(PBT 実施校)と CBT で実施する学校(CBT 実施校)は、それぞれ文部科学省から指定。
- ③保護者に対する調査を、PBT 実施校で調査対象となる保護者は冊子を用いた筆記方式、CBT 実施校で調査対象となる保護者はスマートフォン等を用いたオンライン方式により実施。